

学校教育目標 「心豊かに心身ともに健康で自ら学び考えることができる児童の育成」

【学びの充実】

- 学習規律の徹底「最初が肝心」（開始時間と終了時間を意識して）
- ※1単位45分の授業時間の確保
- 探究的な学びを通して、主体的に課題を発見、解決する力を育て、「分かった・できた」が実感できる授業づくり（振り返りは児童自らが考え、記述する）
- デジタマタイム（木・金）やミニテスト、繰り返しの練習による学習内容の定着。
- コグトレの実施（火）
- 家庭学習マイスター賞の表彰継続
- 読書週間の設定（年2回）
- ICTを活用した授業実践（タイピングコンテスト実施）
- 週1時間の道徳科授業の充実

【地域交流】赤坂ふるさと会との連携

【目指す児童像】

- 心豊かな児童【徳】
 - ・笑顔であいさつができる・思いやりがある
 - 心身ともに健康な児童【体】
 - ・健康と安全を考えて行動できる・強い心と体で頑張り抜く児童
 - 自ら学び考える児童【知】
 - ・よく考え、進んで学ぶ児童 ・自己決定できる児童
- ★ キャッチフレーズ「めざせ！あかさかっ子」
- あかるい子（明るく笑顔で友達に接することができる子）
 - かんがえる子（学習でも学校生活でも、しっかり考える子）
 - さいごまであきらめない子（何事においても最後まで取り組む子）
 - かっぱつで元気な子（基本的な生活習慣が身に付いている子）

【令和6年度児童意識向上キーワード】一人一人が主人公

- ・学校行事等、児童が主体的に参画する機会を設け、よりよい学校を創造しようとする自主性を育てる。

【健康教育の充実】

- 学校保健委員会の継続的な活動。
- フッ化物洗口の継続実施
- 「こころの相談」の実施と面談
- 縦割り活動の充実
- 学校事故・交通事故などの防止の取組の徹底（けがは当日経緯を究明し保護者連絡。連絡帳ではしない。けがで病院行き、病気の帰宅は管理職へ必ず連絡。）
- 登校確認できない児童の連絡（職員室に連絡）
- ケース会議（不登校対応含む。定期的な連絡）。
- アレルギー対応給食の安全確保の徹底

【特別支援教育の充実】

- 児童の状況の共通理解
- ユニバーサルデザインの視点で学級・授業づくり
- 担任間による交流の内容等についての確認
- 地域交流 ○関係諸機関との積極的な連携

【目指す教師像】子どものために学び続ける教師・教師集団（チーム赤坂小）

- 組織の一員として（同僚性）の自覚をもち、共に力を合わせる教職員
- 情熱をもち、子どもとともに伸びる教職員 ○支持的風土のある学級づくり
- 一人一人の子どものよさや可能性を見つけ、引き出し、育てる教職員
- 日頃より研修に励み、専門的な指導力を高める教職員
- 子どもや保護者の気持ちに寄り添うことができる教職員

【人材育成】

- 主題研修の推進（ICT活用の継続）
- 若年研修の実施・先輩に学ぶ（基本4年次教員まで）
- 専科指導、中学校との連携（3年次教員の学びの場）
- 先進校の実践に学ぶ

【学校経営の基盤】 《目指す学校の姿》～『また明日』の声が響く学校～

- 安心・安全な学校環境づくりを一人一人が意識する。○全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感をもつ。○人権教育の充実（新版いのちの効果的な活用）
- 時代の要請に応える新しい学校教育を推進する。（2学期制のメリットを生かす）
 - ・同僚性の発揮（チーム赤坂小の一員として）・本校教育課題への積極的取組（学力・体力の向上、自尊感情の高揚等）・ICT教育、生命の安全教育等の継続
- 子どもの心に寄り添った対応（体罰や威圧的言動等の禁止） ○小中一貫教育：義務教育9年間の活動プラン作成
- 働き方改革：授業時数の見直し⇒生み出した時間の効果的な活用 時間外勤務45時間以内、年休の取得推進、会議の精選、行事の在り方の見直しの継続